

令和5年度 武生第二中学校坂口分校 スクールプラン

保護者・地域の願い

【教育目標】自ら学び、自ら考え、たくましく生きる生徒の育成

教師の願い
生徒の実態

【めざす生徒像】

- 自ら学び、自ら考える生徒
- 創造力を高め、心豊かな生徒
- 心身ともに健康で、たくましい生徒

【重点項目】

(1)「深い学び」のために

- ◎主体的に学ぶ生徒の育成
- ◎少人数を生かした学習指導の充実
- ◎読書・家庭学習の習慣化

(2)「しなやかな心」のために

- ◎主体的に考え行動する生徒の育成
- ◎居心地のよい学校・学級づくり
- ◎キャリア教育の充実

(3)「健やかな体」のために

- ◎命の教育・健康安全防災教育の充実
- ◎心身の健康を自ら管理することができる生徒の育成

(4)「家庭・地域との深いつながり」のために

- ◎ふるさとを大切にする生徒の育成
- ◎デジタル・シブ・ソップ教育の推進
- ◎開かれた学校づくり

【具体的な取り組み】

- ①授業の中で生徒が自ら考えたり選択したりする場面を設定し、生徒を主語にした学びの実現に努める。また、合理的配慮を意識した授業づくりに取り組む。
- ②少人数の特性を生かして個に応じた指導を行うとともに、タブレット端末を効果的に活用し、すべての生徒に学ぶ楽しさ、わかる喜び、できた感動を味わわせる。
- ③読書や家庭学習の習慣化を図り、基礎的・基本的な学力を定着させる。

- ①小中間や異学年での縦割り活動に積極的に取り組み、互いに思いやる心を育むとともに、主体的に考えて行動し、最後まで責任を持ってやり遂げる態度を育てる。
- ②道徳教育や人権教育を通じて多様性を認める態度を育てる。教育相談の充実により、安心して生活できる居場所づくりを推進しいじめ・不登校の未然防止に努める。
- ③将来の夢や目標の実現に向けて、自分の力で生き方を選択していくことができる能力や態度を育てる。

- ①自他のかけがえのない命を大切にする意識の向上を図り、安全指導や避難訓練等を通して事故や災害などから身を守る態度を育てる。
- ②困難やストレス等に対するSOSの出し方に関する教育を推進し、レジリエンスの強化を図る。また、十分な睡眠やバランスの取れた食事を心がけるようにさせ、自分の健康は自分で守る意識を高める。

- ①地域の行事や活動への参加を促進し、ふるさとへの理解を深め、愛着を持って、地域に貢献しようとする心を育てる。
- ②保護者と連携し、SNSやインターネットの適正利用など、デジタル社会を生きるために必要な資質・能力を育成する。
- ③学年通信、ホームページなどで積極的に家庭や地域に情報を発信する。

【数値目標】

- ①「授業に主体的に取り組んでいる」と答える生徒80%
- ②「授業の内容がよく分かる」と答える生徒80%
- ③「家庭でも読書や学習に取り組んでいる」と答える生徒80%

- ①「行事や委員会、係の仕事に主体的に、責任を持って取り組んでいる」と答える生徒90%
- ②「相手のことを考えて発言したり、行動したりすることができている」と答える生徒80%
- ③「将来の夢や目標に向けて見通しを持って粘り強く取り組めるようキャリア教育に努めた」と答える教員100%

- ①「事故や災害などから自分を正しく守る方法を知っている」と答える生徒90%
- ②「規則正しい生活習慣が身についている」と答える生徒80%

- ①「地域のために役立つ活動に積極的に取り組んでいる」と答える生徒100%
- ②「インターネットの使い方について正しく理解し、iPadやスマートフォン等を適切に使っている」と答える生徒90%
- ③「学校からの便りやホームページなどから知りたい情報を得ることができた」と答える保護者80%

<業務改善のための取組>

- ・職員会議をペーパーレス化する。
- ・職員朝礼、清掃の回数を削減する。
- ・校務支援システム等を活用して本校や教員同士の情報共有を効率化する。
- ・ノー残業デーには定時に退勤する。
- ・部活動を全教員で指導し、顧問の負担を軽減する。